

## オープン カレッジ

15年ほど前に『マネーの虎』というテレビ番組があった。成功した「虎」と呼ばれる起業家に新たなビジネスの資金を必要とする者が事業の提案を行う。クラウドファンด์等のない時代の現金を目の前にした駆け引きの印象は強烈であり、厳しいコメントは今なら圧倒面接やパワハラと批判されるようなものであったが、白熱したやり取りが行われることで人気となり、深夜番組からゴールデンタ

### 「ビジネス経済学」のすすめ

定するような発言をしていた「虎」たちであったが、その多くが番組が終了してから事業がうまくいかなくなり、現在は「失敗から学ぶ」といった番組に出演している者さえいる。経済状況が大きく変化し、それに伴い彼らを取り巻くビジネス環境も変わっているにも関わらず、過去の成功体験によって従来の方法をそのままにしたことが失敗の原因であり、時代の変化を読み取ることや過去の成功体験を脱することの難しさを示すエピソードといえる。

は市場の中で個人や企業がどのように行動するかを分析する。また、経営学では企業の組織の効率性や戦略の有効性を分析する。経済学は社会全体の法則性を、経営学は個々の企業の行動原理を研究対象として別の学問として発展してきたが、ビジネス経済学ではそれぞれの研究成果を融合することで現実の経営に役立てることができる。

経済状況によって売れるものは違ってくる。景気が悪ければファストフードや100円ショップ、リサイクルショップの人气が高まり、景気が良くなれば高級な財やサービスが求められるようになる。画期的な新製品であっても、必ず模倣されて競争になっていく。

例えば、マイクロ経済学に基づいた企業行動の分析だけでなく、消費者行動と合わせることで産業全体を分析し、さらにマクロ経済学に基づいて一国経済全体を正しく見ることができ、売れるものを見極めることができる。また、需要の価格弾力性を用いた薄利多売や独占的競争による製品差別化、

# 課題解決のための 新たな経済学

イムへの進出を果たし、さらには海外で類似の番組が誕生した。

事業の提案者による計画や見通しの甘さを厳しく批判し、時には人間性まで否



東京大学大学院経済学研究科博士課程後期  
水野 英雄

みずの ひでお 国際経済学、貿易政策、経済政策。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程後期課程退学。1968年生まれ。

悪ければファストフードや100円ショップ、リサイクルショップの人气が高まり、景気が良くなれば高級な財やサービスが求められるようになる。画期的な新製品であっても、必ず模倣されて競争になっていく。経済学を経営に役立つという視点から分析するのがビジネス経済学（ビジネス・エコノミクス、マネジリアル・エコノミクス）である。経済学はマクロ経済学とミクロ経済学に分かれており、前者は国民所得等の経済指標に基づいて国の経済状況や政策の効果を、後者

は市場の中で個人や企業がどのように行動するかを分析する。また、経営学では企業の組織の効率性や戦略の有効性を分析する。経済学は社会全体の法則性を、経営学は個々の企業の行動原理を研究対象として別の学問として発展してきたが、ビジネス経済学ではそれぞれの研究成果を融合することで現実の経営に役立てることができる。例えば、マイクロ経済学に基づいた企業行動の分析だけでなく、消費者行動と合わせることで産業全体を分析し、さらにマクロ経済学に基づいて一国経済全体を正しく見ることができ、売れるものを見極めることができる。また、需要の価格弾力性を用いた薄利多売や独占的競争による製品差別化、自社を取り巻く環境の正しい把握といった経済学の知見に基づいて現実の問題を見ることは経営判断には欠かせないものである。冒頭で紹介した事業に行き詰った経営者の事例はそのような分析を欠いたために起るのである。

経営者の中には「経済学は役に立たない」という者もいるが、一方でビジネス書等を多読している者はゲーム理論や行動経済学も含めて体系的ではなくても経済学の知見を役立てている。経済学を実学としての「ビジネス経済学」として位置付けて役立てることは正しい経営判断には不可欠である。